ひとりだち

きこえとことばの
支援センターだより
R5 年 2月号

みみの助

災害時の備えは大丈夫？

１月に石川県能登地方で大きな地震がありました。みなさんは災害時の備えは整っていますか。過去の大地震から、聴覚障がいの方々が避難時や避難所生活においてどのような困難を抱えていたのかを学び、そして私たちは今、どのような備えができるのかを考えておく必要があります。

まず、災害時において聴覚障がいの方々はどんなことに困るのでしょうか。

「特定非営利活動法人 ＣＳ障害者放送統一機構」作成ポスターより転載

全日本ろうあ連盟HPより、災害時に関連するリーフレットが出ておりますので、抜粋して紹介します。

左の資料の通り、広報車やアナウンス、テレビ、ラジオなどから情報が入ってこないため、災害の様子や配給などの大事な情報が伝わらないことが大きな問題のようです。

また、夜間の停電では、手話や筆談が見えなくなってしまうため、とても不安になってしまうそうです。

災害時に少しでも安心できるように、今日からの備えが大切ですね。特に情報をいつでも受け取ることができるように、補聴器などの予備電池はもちろん、筆談用の筆記用具や懐中電灯などを用意しておくとよいでしょう。全日本ろうあ連盟のHPより、リーフレットを確認することができますので、ご参考にしていただけたらと思います。

3月　業者来校予定日

＊ ナショナル補聴器センター・・・ 3月6日（毎月第1・3水曜日）

＊ 理研産業　　・・・ 3月13日（毎月第2水曜日）

場所：本館1階 補聴相談室

時間：13時30分～相談が終わり次第終了

※イヤモールド作成、補聴器の不具合等の相談は、業者来校日の前に、担任を通じて各部の補聴相談係への連絡後、申し込み用紙の提出をお願いします。